

第20回 運営推進会議

2026年2月19日(木)

10:30～

デイサービス若芝



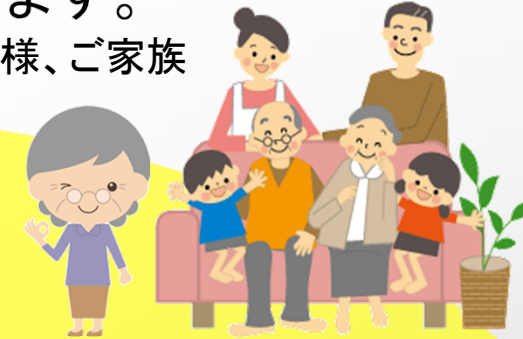
デイサービス若芝

本会議の趣旨



利用者様(ご家族様)、市町村職員、地域住民の代表者等に対し、提供しているサービス内容等を明らかにし、地域に開かれたサービスとすることで、サービスの質の確保を図ることを目的としています。

利用者様、ご家族



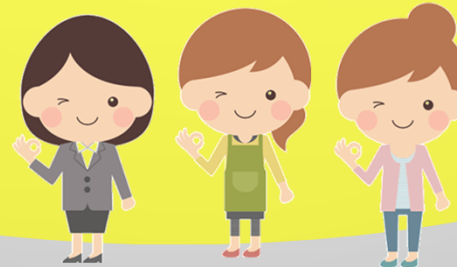
地域の方々



三島地区(芝本町)



デイサービス若芝



三島市(包括)、有識者

定期的(半年に1回)に開催して、情報を共有したり、意見交換をしたりすることで、地域全体で介護サービスの質の向上を実現していく。



デイサービス若芝の現況

【開設】

■平成24年1月1日認可 ➡ 令和6年1月1日認可更新

- ▶ 地域密着型通所介護（要介護認定者）
- ▶ 介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業対象者）

1日のご利用定員 …… 10名

サービス提供時間 …… 9:15～16:30

※お休み：日曜、年末年始

〒411-0857

静岡県三島市芝本町11-32

TEL: 055-983-0808

FAX: 055-983-0811

<https://www.com-work.jp/waka/>

【姉妹事業所】

デイサービス井福来／デイサービス山風木
居宅介護支援事業所いぶき(ケアマネ)

関係事業所のご紹介



令和6年6月1日認可

★デイサービス井福来／居宅介護支援事業所いぶき(ケアマネージャーが常駐)

→本部機能も担っております

→定員12名の認知症対応型デイサービス

→ケアマネージャー4人体制で(主任ケアマネが3名)

※R7.12月に三島市の運営指導がありました。指摘事項なし



平成24年1月1日(令和6年1月1日認可更新)

★デイサービス若芝(地域密着型通所介護)

→芝本町(商店街)という環境は生活感を強く感じられます。

→認知症ケアの専門集団を目指して頑張っています。

平成30年3月1日(令和6年3月1日認可更新)

★デイサービス山風木(認知症対応型通所介護)

→認知症の利用者様に特化した事業所

→定員12名



デイサービス若芝の稼働状況



<ご利用実績>

ご登録人数: 29名

◆1月のご利用実績

平均稼働率 = 88%

※お休みもあって少し寂しい日もありました。

<ご利用予定(2月1日時点)>

月	火	水	木	金	土
10名	10名	9名	10名	10名	9名

山風木のメンバーとも協力して多面的な視点で利用者様やその活動を追いかけていきます！

若芝らしさ！を常に意識して活動を考えています。

⇒散策、買い物など地域へ出かける

⇒地域の中での「若芝」という存在意義を発信

⇒姉妹事業所との連携力(特に山風木)

要支援1	0名
要支援2	0名
要介護1	17名
要介護2	4名
要介護3	6名
要介護4	0名
要介護5	0名

組織としての活動



よりレベルアップを！

近隣姉妹事業所(山風木)との各種共有による質の向上！

活動や事業所内環境の見直し改善フェーズ！

5S活動への取り組み中！

■体制 人手不足はどこも同じですが、人材確保・育成の取組み実施

	デイサービス井福来	デイサービス若芝	デイサービス山風木
相談員	専任1名、兼務者1名	専任1名、兼務者1名	専任1名、兼務者1名
介護職	専任4名、兼務社1名	専任3名、兼務者1名	専任4名、兼務者1名
看護師	1名	1名	1名
ケアマネージャー	専任3名、兼務者2名	—	—

国家資格(介護福祉士)⇒取得支援！

※介護職の国家資格保有率90%

活動の振り返り

季節の変化・地域の変化・利用者様の変化、様々な変化と向かい合いながら日常を作り上げてきました！

活動

各種活動

季節行事、47都道府県銘菓企画、いろは喫茶スタート！

地域での出来事

年度末の工事情報もあります。情報収集にも努めています

外出

初詣、地域の散策、お花見の準備開始(おすすめスポット教えてください)

情報発信

ブログによる活動発信、ケアマネさんなどへの情報発信

スタッフ育成・採用強化

各種研修実施、個々のステップアップ、新人採用

ICT化、設備の更新

PC、タブレットなどのIT機器の増設・交換、AI活用への取り組み

新しい認知症観

=これまで(～2025年)=

たくさんの方が認知症になる！大変だ！みんなあらかじめ心の準備を！

という啓蒙活動をしながら支援体制の構築を進めてきました。

【結果】世の中の多くの方が認知症という病を知ってくれた

=これから(2025年～)=

認知症基本法(認知症基本計画)

もっと正しく認知症を理解してもらおう！

学校教育／社会教育／専門職養成／認知症の方からの発信

<新しい認知症観>

「認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも、一人一人が個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができる」

=>もちろんご家族(支援者)も同様に自分らしく暮らし続けることができる

認知症(BPSD)と向かい合う



＜忘れてしまう！の先にあるのは個性です＞

認知症という病で忘れてしまうことがあっても、その結果として不安になる！外に出かけたくなる！思い出したように怒り出す！etc というような行動は、その方の人生観や個性が要因になることが多いです。

取り組む姿勢

大人数での空間が苦手な方

和室などを活用して小集団で落ち着ける時間を作る

仕事ひとすじで生きてこられた方

時間が空くと居心地がわるくなってしまうので、何かをしている充実感を感じられるように役割や日課を持っていただく

学校の先生、お花の先生などをされてきた方

一緒にいる人たちに少しでも上手になってもらいたい。教えてあげたいという気持ちに応えながら、教えてあげるといふ誇りも感じてもらう

体が弱かったりして悲しい記憶が強く残ってしまっている方

悲しかった出来事への共感をしつつ、今そこにある喜び・楽しみも一緒に共有して共に喜ぶ

家族をととても大事にされてきた方

ご家族の名前なども共有させてもらい、家族の思い出をたくさん話してもらおう。一方で家族の心配をせずに安心してもらうようなアプローチもする

若芝の目指すところ



■ご自宅での様々な課題

利用者様・ご家族の生活をご支援するために
事業所の中だけに留まらず全体観を持って関わる

■認知症についての学びを深める

それぞれの利用者様の困りごとに対応する
力を職員一丸となって高めていく

■ケアマネジャーその他関係職種と連携

若芝での気づきを積極的に発信し、
チームで関わっていく。